

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査の目的は、家庭から排出される家庭系ごみ（可燃、その他の紙、雑がみ）、事業所などから排出される事業系ごみについて組成割合を調査し、ごみの排出状況を把握するとともに、更なるごみの減量化・資源化推進のための基礎資料とすることである。

2. 調査実施内容

① 家庭系可燃ごみ

【実施日】 平成30年10月25日（木）

【調査場所】 弘前地区環境整備センター（弘前市大字町田字筒井6-2）

【季節】 春・夏・**秋**・冬

【試料採取地域】 大久保町会（和徳地区）

【集積所の形態】 **ステーション方式（町会等）**、ステーション方式（集合住宅）、毎戸方式

【備考】 ポリバケツ、**集積ボックス**、防鳥ネット、三方コンクリート

【可燃収集曜日】 月曜・木曜

【想定条件】 住居地域

【採取量】 201.9kg（集積所4か所分）

【気温（平均）】 11.6℃

【収集時間】 20分

② 事業系可燃ごみ

【実施日】 平成30年10月29日（月）

【調査場所】 弘前地区環境整備センター（弘前市大字町田字筒井6-2）

【季節】 春・夏・**秋**・冬

【採取量】 201.2kg

【気温（平均）】 10.3℃

3. 調査手順

（1）試料の回収

① 家庭系可燃ごみ

調査対象の集積所から市職員がごみを回収し、指定の場所に搬入する。

② 家庭系ごみ厨芥類（生ごみ）の未使用（食品ロス）

①で調査した厨芥類（生ごみ）の未使用（食品ロス）を回収し、指定の場所に搬入する。

③ 事業系可燃ごみ

中間処理施設へ持ち込まれたごみを施設担当職員の誘導のもと、指定の場所に搬入する。

（2）分類及び重量の記録

搬入された試料の分類を行い、組成区分ごとに重量を計量し、記録する。